

2025年12月

一般財団法人 全日本野球協会

アマチュア野球規則委員会

審判員講習会マニュアル 第8版 2025年12月現改比較表

| ページ・項目  | 現（第7版）  | 改（第8版）   | 備 考   |
|---|---|--|-------|
| P18<br>9 1塁のフ<br>オースプレイ<br>(走者なし)<br>(1) 1塁審<br>⑥ | <ul style="list-style-type: none"><li>走者が野手のタグを避けて、走者のベースラインから3フィート以上離れて走ったときは、ラインアウトの地点を右手で指さし『ラインアウト』“Out of the base path！”と発声したあと、走者にアウトを宣告します。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>走者が野手のタグを避けて、走者のベースラインから3フィート以上離れて走ったときは、ラインアウトの地点を右手で指さし『ラインアウト』“Out of the base path！” または、『アウト・オブ・ザ・ベースライン』“Out of the base line！”と発声したあと、走者にアウトを宣告します。</li></ul> <p>◆ 先に走者に向かってアウトを宣告し、次に「オフ・ザ・バッグ」のジェスチャーのように両腕を振って、『アウト・オブ・ザ・ベースパス』“Out of the base path！”または、『アウト・オブ・ザ・ベースライン』“Out of the base line！”と走者がベースパスから離れた事を選手、観衆に分かりやすく示す方法もあります。</p> | 文言の追記 |

|   |  |   |                  |
|---|--|---|------------------|
| P38<br>20 投球動作の関連事項<br>(4) ウィンドアップポジションからの塁への送球 (けん制球)                      | ■ 日本のアマチュア野球では、ウィンドアップポジションをとった右投手が3塁 (または3塁方向から回転して2塁) へ、あるいは左投手が1塁 (または1塁方向から回転して2塁) へ踏み出して送球することは、投球動作を変更したとみなされ、ボーケとなります。                                | (全削除)   | 2026 アマ内規改正に伴う修正 |
| P41<br>20 投球動作の関連事項<br>(8) セットポジションからの塁への送球 (けん制球)<br>②軸足を投手板からはずして塁へ送球する場合 | ■ 投手板に位置した投手が、軸足を後方にはずしながら1塁 (左投手)、または3塁 (右投手) への送球動作 (自由な足をステップせずに送球する) を開始することは、規則違反となります。投手板からはずした軸足が地面に着いてから、送球動作を始めなければなりません。                           | ■ 投手板に位置した投手が、軸足を後方にはずしながら1塁 (左投手)、または3塁 (右投手) への送球する動作 (自由な足をステップせずに送球する) を開始することは、軸足をはずす (軸足が浮いた) 動き 자체をもって軸足がはずれていると解釈されるとして、規則違反 (ボーケ) ではありません。となります。投手板からはずした軸足が地面に着いてから、送球動作を始めなければなりません。 | 解釈変更に伴う修正        |
| P43<br>20 投球動作の関連事項<br>(12) ボーケ<br>【よくあるボーケの例】①                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 捕手のサインを見ながらストレッチを開始したが、途中でやめる。</li> <li>◆ ワインドアップポジションとセットポジションの区別なく、投手板に触れてサインを見ている投手が、手を動かして顔の汗をふくなどの動</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 捕手のサインを見ながらストレッチを開始したが、途中でやめる。</li> <li>◆ ワインドアップポジションとセットポジションの区別なく、投手板に触れてサインを見ている投手が、手を動かして捕手に対してサインを</li> </ul>                                    | 文言修正             |

|                                |   |   |                    |
|--------------------------------|---|---|--------------------|
|                                | 作をすると、投球動作またはストレッチの中止とみなされます。   | 出す額の汗をふくなどの動作をすると、投球動作またはストレッチの中止とみなされます。 |                    |
| P44<br>20 投球動作の関連事項<br>(13)その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アマチュア野球において投手用のグラブは、縫取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体 ((捕球面、背面、網 (ウェブ)) が一色であることが必要で、しかもその色は、白色、灰色以外のものでなければなりません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 球審は、自らの判断または他の審判員の助言があれば、あるいは相手チームの監督からの異議に球審が同意すれば、違反しているグラブを取り替えさせます。</li> </ul> </li> </ul> <p>(中略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2015 年度の規則改正により、投手は、いずれの手、指または手首に何も (たとえば、救急ばんそうこう、テープ、瞬間接着剤、ブレスレットなど) つけてはならないことになりました。なお、このことについては、所属する団体の規定に従うこととしています。</li> </ul> | (全削除)                                     | 所属団体により取扱いが異なるため修正 |

|  |  |  |                |
|--|--|--|----------------|
| P45<br>21 4人制メカニクスのポイント<br>(1) 基本的なポイント⑯ | <p><b>⑯ 3塁コーチの肉体的援助に注意する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走者の3塁触塁を確認した審判員は、3塁コーチの走者に対する肉体的援助に注意します。</li> <li>球審または本塁をカバーした1塁審は、本塁でのプレイに備えながら、3塁周辺の状況を見ているようにします。そして、当該審判員が肉体的援助に気づかないときは、その審判員に代わって規則を適用します。</li> <li>コーチと走者が接触した場合、ただちに規則を適用するのではなく、コーチが走者の帰塁または離塁を“援助したかどうか”を審判員が判断します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>審判員が“援助していない”と判断した場合、妨害は宣告されず、ボールインプレイの状態は続きます。このケースでは審判員は“ナッシング”のジェスチャーをします。</li> <li>審判員が“援助した”と判断した場合、ボールデッドとして走者にアウトを宣告し、他の走者（打者走者を含む）は妨害発生の瞬間の占有塁に留め置きます。</li> </ul> </li> </ul> | <p><b>⑯ 3塁コーチのアシスト肉体的援助に注意する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走者の3塁触塁を確認した審判員は、3塁コーチの走者に対するアシスト肉体的援助に注意します。</li> <li>球審または本塁をカバーした1塁審は、本塁でのプレイに備えながら、3塁周辺の状況を見ているようにします。そして、当該審判員がアシスト肉体的援助に気づかないときは、その審判員に代わって規則を適用します。</li> <li>コーチと走者が接触した場合、ただちに規則を適用するのではなく、コーチが走者の帰塁または離塁を“アシスト援助したかどうか”を審判員が判断します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>審判員が“アシスト援助していない”と判断した場合、妨害は宣告されず、ボールインプレイの状態は続きます。このケースでは審判員は“ナッシング”のジェスチャーをします。</li> <li>審判員が“アシスト援助した”と判断した場合、ボールデッドとして走者にアウトを宣告し、他の走者（打者走者を含む）は妨害発生の瞬間の占有塁に留め置きます。</li> </ul> </li> </ul> | 2026 規則改正に伴う修正 |
|--|--|--|----------------|